進路別コース　就職

＜　内田式ｸﾚﾍﾟﾘﾝ検査ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞの取り組み方　＞

◆ 内田式ｸﾚﾍﾟﾘﾝ検査とは

- 日本で開発された心理検査で,最も長く使われている検査。就職試験で行うことが多い。
- 作業の中から,面接では読み取れない特徴があらわれるため,高く評価されている。
- 面接が高評価でも,この検査によって不採用となることがあるため,早期にトレーニングを行い,訓練しておく事が必要。
- 数字が横一列に並んでおり,スタートの合図で隣り合う数字を足して,合計の下一桁の数字を間に書き込んでいく単純作業を繰り返していきます。
- スタートから1分後に合図があるので,そうしたら次の段の計算をおこない上の要領で下一桁の数字を書き込んでいきます。

〇どういった点が見られる？

- ***全体の計算量*,*1分毎の計算量の変化の仕方***と誤答数などが見られ,能力面と性格や行動面の特徴が見られます。(単純作業能力や精神的な不安定さ等)

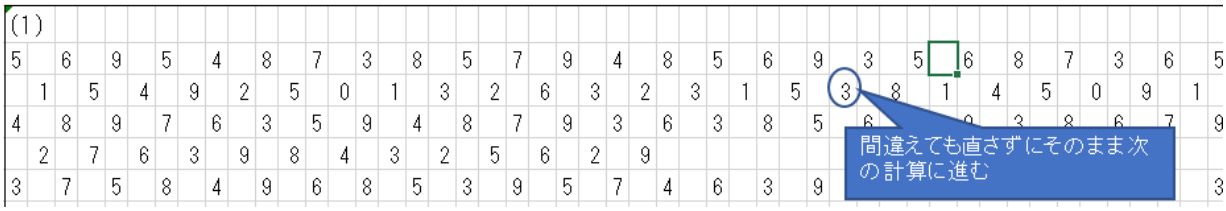
〇 準備するもの

A　クレペリン検査練習シート(プリント・学校HP)
B　鉛筆
C　アラーム(1分間刻みで連続して鳴るアラーム機能があるもの)

〇 進め方

① プリントに書かれている注意事項をよく読んでください。
② 練習シートでは,*1分間×4回を1週間のうちに4回行ってください。***本番では,1分間×15回休憩を挟んで前後半の2回行われます。**
③ 注意分を読んで，やり方を理解したらタイマーを1分間隔で鳴るようにセットしてください。
④ 準備ができたら，タイマーをスタートして始めてください。アラームが鳴ったら(2)に進んでスタートしてください。(以下，実施回数分繰り返しおこなう。)
⑤ 終わったら，学年で配付したクリアポケットファイルにしまってください。
⑥ 用紙がなくなってしまったら，学校HPからダウンロードしてプリントアウトして使ってください。**やり方がわからない場合は，学校HP「スマホ活用例」を参考にして行ってください。**

取り組み例



※ 連続して2回分(8回)×2日または，連続で4回分(16回)×1日でおこなっても構いません。
(1分毎の計算量の変化の仕方が出るのは6セット目以降が多いため。)

今までの教科課題一覧や，今回出された課題については下のQRコードから入ったページに掲載しますので，確認・ダウンロードしたい場合，活用してください。

3年生ページ新

〇その他
進路対策動画・過去の新聞記事
学校HPトップ＞生徒・保護者の皆様ページ内
進路情報記事・進路対策情報ページ
に，掲載してあります。活用してください。